

第10回北勢線の魅力を探る  
～お地蔵さんを巡って、酒蔵へ～

開催日 2008年2月24日(日)

参加者 62名

協力 小川恭平さん、小川通夫さん、後藤酒造場(後藤悦夫さん)

西別所～稗田

夜半からは激しい風と雪が舞い、行事開催が危ぶまれたが、北勢線の運行にも支障にないようで、実施した。前回の半数近くだが熱心な方々が参加してくれた。

西別所駅を出発し、濃洲道を行くと3つの地蔵堂がある。1番目は桑部方面への分かれ道(三叉路)の角の石組みの中に小さな地蔵堂がある。



西別所川横の地蔵堂

これは小林理髪店の仏壇に祀ってあったもので、交通禍から店を守るために、この場所に御堂を建てて祀ったそうである。2番目の地蔵堂は西別所川を渡った右側のところにある。濃洲道の道中の安全を祈願して安永6年(1777)に建立されたもので、石の台座に石橋供養塔と刻まれている。3番目はさらに西へ行った蓮花寺川に架かる城下橋のたもとにある。このお地蔵さんは西別所の山手にあった万機庵(万機山白鷺庵)から

明治の始めに現在の場所に移されたと伝えられている。

路面の雪はかなり融けてきたが、日陰となったアイスバーンに驚かされながら、北勢線の稗田前駅跡の踏み切りを渡った。ここには昭和13年(1938)北勢電気鉄道の稗田前駅が開設されたが、昭和19年に駅は休止された。現在もプラットホームらしき土盛りが残っている。

稗田の地蔵堂を経て、薬師堂(宝増山薬王寺)に着く。室町時代に天台宗の寺院として建立されたが、信長の北勢侵攻で焼失し、その後の江戸時代に法華宗に改宗してこの地に移転したと伝えられている。この薬師堂の境内に「史蹟矢部駿河守埋葬之地」という石碑がある。江戸町奉行矢部駿河守定謙は讒訴により町奉行を罷免され、桑名藩に預けられた。幽閉中の桑名城内で無念の一生を終え、遺体はこの薬師堂に葬られた。この解説者は地元の小川恭平さんである。



史蹟矢部駿河守埋葬之地

その先の桑部橋との間に「茶毘之跡」の碑がある。昭和34年の伊勢湾台風の遭難者を火葬した場所である。立派な石碑が建っている。春日神社から伊奈利社を眺めながら桑部橋を渡った。初代の桑部橋は明治13年(1880)に架けられ、それまでは仮橋であった。2代目は昭和10年、現在は3代目であり、昭和57年に架け替え

られた。先代の橋脚基礎の跡が見られる。

### 大儀須家～桑部の地蔵さん～長谷神社

桑部城主の大儀須若狭守直系のご子孫である大儀須家のご当主に説明してもらった。大儀須家の後にあった城山と呼ばれる標高約50mの丘陵上に築かれたのが桑部城である。近年まで土塁など良好な状態で残存していたが、道路建設のため完全に破壊された。

桑名市文化財保護審議会委員である地元の小川通夫さんに桑部を案内してもらった。桑部の集落は東・中・西・篠原と4つの地区に分かれ、それぞれに地蔵堂があり、地区ごとに祀っている。今も地蔵盆には盛大に祭りが行われる。地区で祀っている地蔵の他にも個人で祀っている地蔵も多い。

桑部には教専寺と善徳寺とがあるが、いずれも浄土真宗本願寺派の大きな寺である。長谷神社は延喜式内社である。元は丘陵地の谷間である長谷にあったが、のちに現在へ移った。明治時代に桑部村の各神社を合祀したが、戦後にそれぞれ分祀した。神社の横には戦没者を顕彰する忠魂碑（昭和15＝1940年建）、日露戦役記念碑（明治40＝1907年建）、五箇条の誓文碑がある。この五箇条の誓文碑は桑部小学校にあったが、戦後に現在地へ移された。

### 能部神社から後藤酒造場へ

桑部の古い集落を抜けると、やがて現代的で、直線的に区画整理された東正和台団地を通り、さらに東名阪自動車道の高架下を抜けると右側に能部神社がある。この神社は、創立不詳で、明治時代に桑部長谷神社に合祀され、戦後に分祀されたという。昭和46年（1971）の高速道路工事や昭和55年の区画整理事業に伴う開発工事にも伐採されなかった鎮守の森がこの神社を護っている。



後藤酒造場

さらに西正和台団地を抜けて、赤尾台団地に入る。現代的な団地のはずれに旧来からの赤尾の集落があり、その中に後藤酒造場がある。ご当主の後藤悦夫さんに話を聞く。後藤酒造場は4代目で90年間この地でお酒を作っており、現在では、桑名市で唯一の酒造場である。恵まれた地下水と、桑名のおいしいお米を原料としている。工場見学後にお酒の試飲に舌鼓を打つ。思い思いの場所でお弁当をひろげる。ここで解散し、午後は希望者のみの参加とする。

### 萬古瞭然館と靱尾神社

午後のオプションコースは「まちかど博物館萬古瞭然館」である。ここにも2つの地蔵堂がある。萬古瞭然館の中は所狭しと、展示物が並んでいる。館長の岩谷さんに万古焼のみならず、珍品を紹介して頂く。次に靱尾神社にお参りして、無事に終了したことを感謝して、星川駅まで歩いた。